

## 2-7 底質の現況

### (1) 判定基準

底質の判定基準は、表 2-7-1 に示すとおり「海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律」（昭和 45 年 12 月 25 日、法律 136 号）に基づく有害水底土砂に係る判定基準を採用した。また、ダイオキシン類対策特別措置法（平成 11 年 7 月 16 日、法律第 105 号）に基づく「ダイオキシン類による水底の底質に係る環境基準」は、表 2-7-2 に示すとおりである。

また、底質のうち、水銀、PCB を含むものについては、表 2-7-3 に示すとおり底質の暫定除去基準（昭和 50 年 10 月 28 日、環水管第 119 号）が定められている。

表 2-7-1 水底土砂に係る判定基準

番号	項目	判定基準
1	アルキル水銀化合物	検出されないこと
2	水銀又はその化合物	0.005mg/L 以下
3	カドミウム又はその化合物	0.1mg/L 以下
4	鉛又はその化合物	0.1mg/L 以下
5	有機りん化合物	1mg/L 以下
6	六価クロム化合物	0.5mg/L 以下
7	ひ素又はその化合物	0.1mg/L 以下
8	シアン化合物	1mg/L 以下
9	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	0.003mg/L 以下
10	銅又はその化合物	3mg/L 以下
11	亜鉛又はその化合物	2mg/L 以下
12	ふつ化物	15mg/L 以下
13	トリクロロエチレン	0.3mg/L 以下
14	テトラクロロエチレン	0.1mg/L 以下
15	ベリリウム又はその化合物	2.5mg/L 以下
16	クロム又はその化合物	2mg/L 以下
17	ニッケル又はその化合物	1.2mg/L 以下
18	バナジウム又はその化合物	1.5mg/L 以下
19	有機塩素化合物	40 mg/kg 以下
20	ジクロロメタン	0.2mg/L 以下
21	四塩化炭素	0.02mg/L 以下
22	1,2-ジクロロエタン	0.04mg/L 以下
23	1,1-ジクロロエチレン	1mg/L 以下
24	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/L 以下
25	1,1,1-トリクロロエタン	3mg/L 以下
26	1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/L 以下
27	1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/L 以下
28	チウラム	0.06mg/L 以下
29	シマジン	0.03mg/L 以下
30	チオベンカルブ	0.2mg/L 以下
31	ベンゼン	0.1mg/L 以下
32	セレン又はその化合物	0.1mg/L 以下
33	1,4-ジオキサン	0.5mg/L 以下
34	ダイオキシン類	10 pg-TEQ/L 以下 (溶出濃度)

「海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第五条第一項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める総理府令」(昭和 48 年 2 月 17 日、総理府令第 6 号)  
最終改正:(平成 29 年 6 月 12 日、環境省令第 15 号)

表 2-7-2 ダイオキシン類による水底の底質に係る環境基準

物質	ダイオキシン類
環境基準	150 pg-TEQ/g 以下(含有濃度)
測定方法	水底の底質中に含まれるダイオキシン類をソックスレー抽出し、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計により測定する方法
(備考) 基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-ダイオキシンの毒性に換算した値とする。	

ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁及び土壌汚染に係る環境基準について  
(平成11年12月27日、環境庁告示第68号)  
最終改正: (平成21年 3月31日、環境省告示第11号)

表 2-7-3 底質の暫定除去基準

暫定除去基準(底質の乾燥重量当たり)		
	河川、湖沼	海域
水銀	25 ppm 以上	<p>次式による算出値(C)以上のもの  <math>C = 0.18 \times \Delta H / (J \times S)</math> (ppm)                      ΔH:平均潮差(m)、J:溶出率、S:安全率</p> <p>潮汐の影響に比して副振動の影響を強く受ける海域においては平均潮位に代えて次式のΔHとする。  <math>\Delta H = \text{副振動の平均振幅 (m)} \times 12 \times 60 \text{ (分)} / \text{平均周期 (分)}</math></p> <p>溶出率は、当該水域の比較的高濃度に汚染されていると考えられる4地点以上の底質について「底質調査法」の溶出試験により求め、その平均値とする。                      安全率 S:                      10 漁業が行われていない地域                      50 底質及び底質に付着している生物を摂取する魚介類の漁獲量が総漁獲量の概ね 1/2 以下の水域                      100 上記漁獲量の割合が概ね 1/2 を超える水域</p>
PCB	10 ppm 以上 魚介類の PCB 汚染の推移から見て更に問題がある水域においては、より厳しい基準値を設定するように配慮する。	

底質の暫定除去基準について(昭和50年10月28日、環水管第119号)  
最終改正: (昭和63年 9月 8日、環水管第127号)

(2) 調査概要

清水港及びその周辺地域の底質の状況を把握するため、現地調査を実施した。調査概要は表 2-7-4 に、調査地点は図 2-7-1 に示すとおりである。

表 2-7-4 調査概要

調査区分	公共用水域調査	現地調査
調査期間	平成30年度	冬季：令和 2年 2月25日 春季：令和 2年 4月 8日 夏季：令和 2年 8月17日
調査地点数	3地点	4地点
調査位置	図2-7-1に示した調査地点	
調査項目	ダイオキシン類	冬季・春季・夏季： 水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(CODsed)、強熱減量、硫化物、油分(n-ヘキサン抽出物質) 夏季： カドミウム、シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、有機リン、銅、亜鉛、ふっ素、ベリリウム、クロム、ニッケル、バナジウム、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、有機塩素化合物(含有量試験)、1,4-ジオキサン、ダイオキシン類(含有量試験・溶出試験)
調査方法	底質調査法(平成 24 年、環境省水・大気環境局)及び環境庁告示等に定められた方法	

資料：「令和元年度版 静岡市の環境」(令和元年、静岡市)  
「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(水質・底質)業務委託 報告書」(令和 2 年 5 月、静岡県清水港管理局)  
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(水質・底質) 報告書」(令和 2 年 10 月、静岡県清水港管理局)

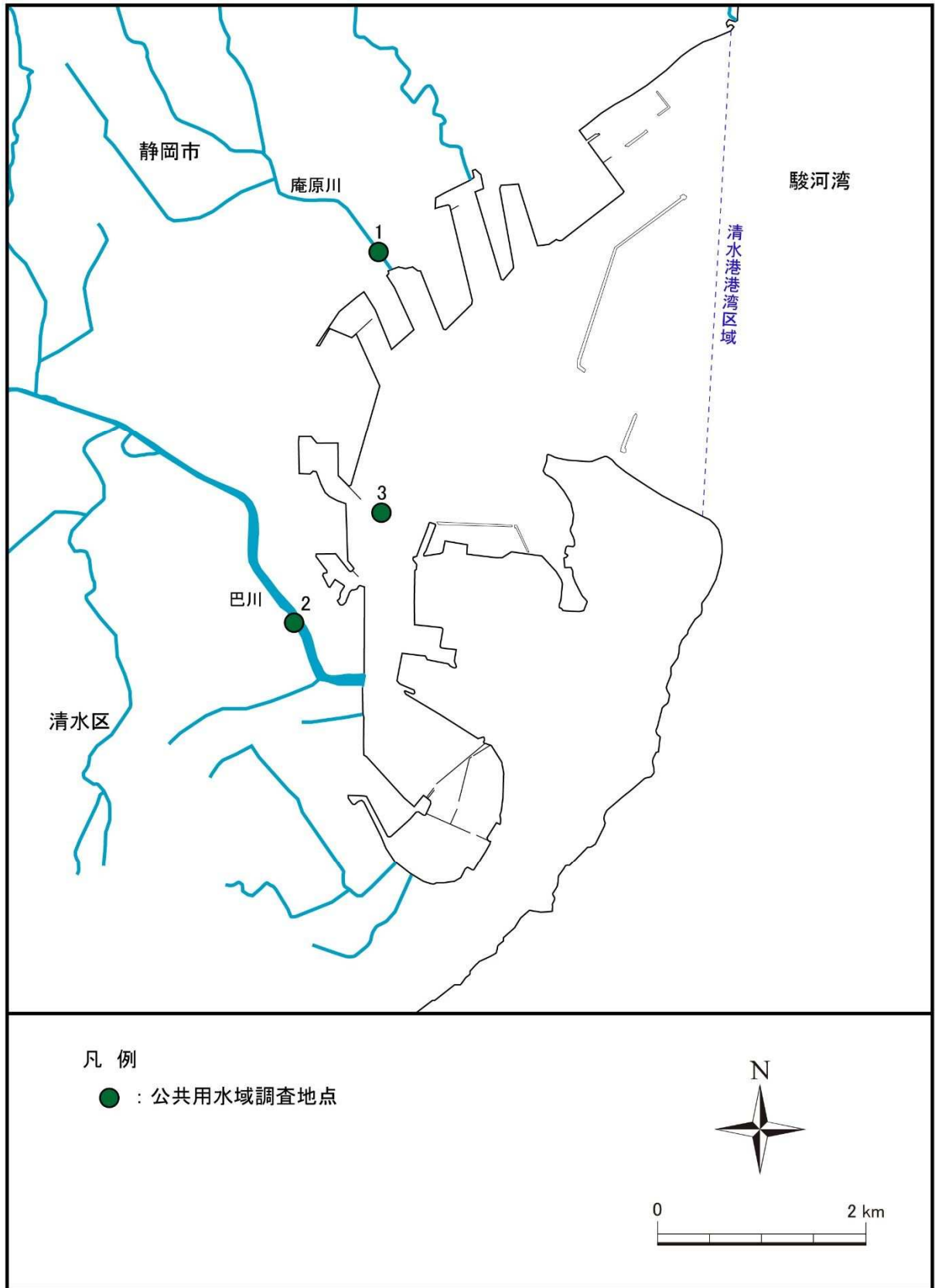


図 2-7-1 (1) 底質測定地点 (公共用水域調査)

資料:「令和元年度版 静岡市の環境」(令和元年、静岡市)  
「環境アセスメントデータベース(EADAS)」(環境省)



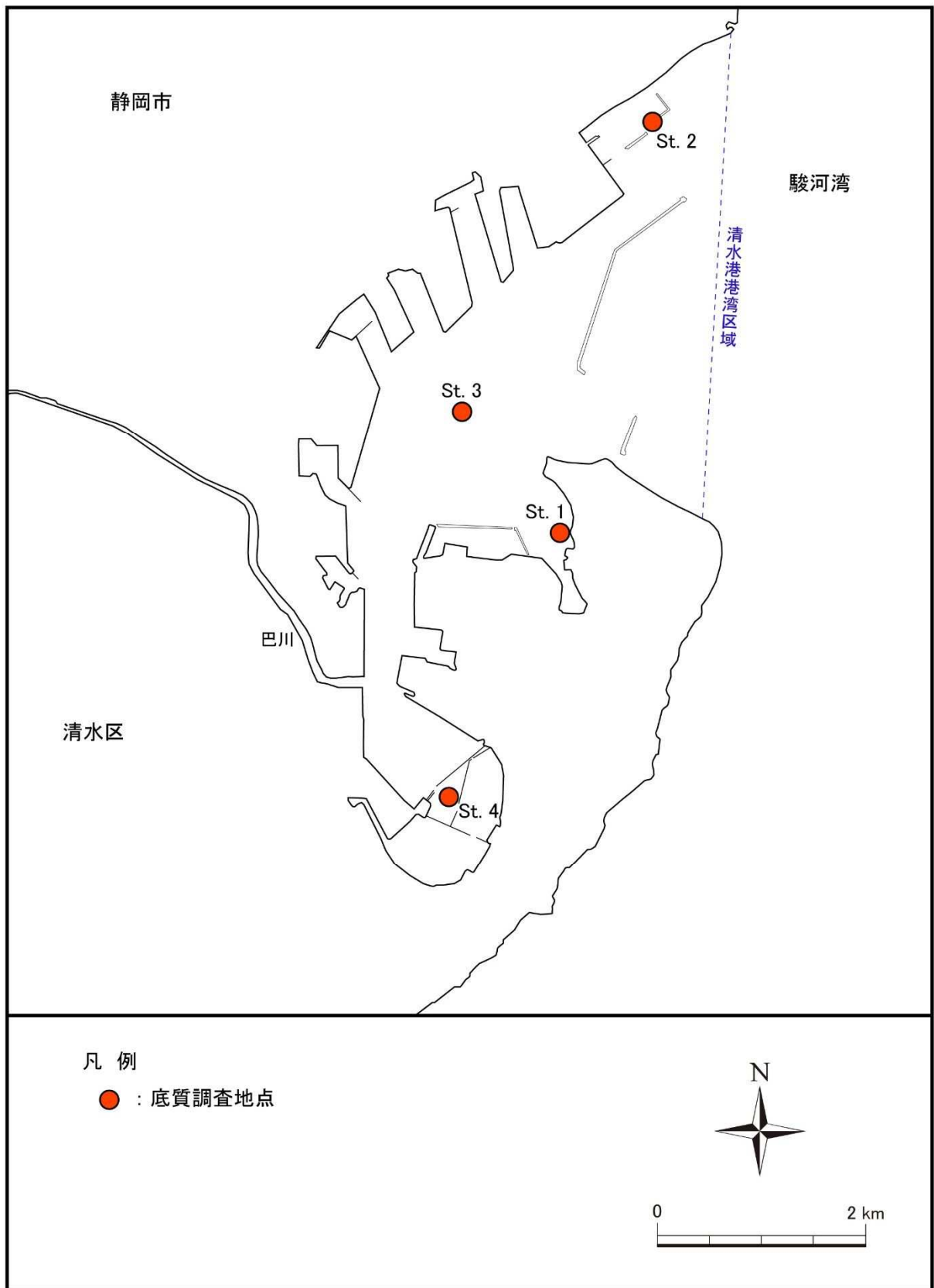


図 2-7-1 (2) 底質測定地点 (現地調査)

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査 (水質・底質)業務委託 報告書」(令和 2 年 5 月、静岡県清水港管理局)  
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(水質・底質)報告書」  
(令和 2 年 10 月、静岡県清水港管理局)

### (3) 調査結果

#### 1) 公共用水域調査

平成 30 年度の公共用水域の調査結果は、表 2-7-5 に示すとおりである。調査の結果、すべての地点で環境基準を達成していた。

表 2-7-5 公共用水域測定結果

地点番号	河川・水域名	地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g)	環境基準
1	庵原川	庵原川橋	0.16	150 pg-TEQ/g 以下
2	巴川	港橋	7.2	
3	奥駿河湾	江尻埠頭沖	1.7	

資料:「令和元年度版 静岡市の環境」(令和元年、静岡市)

## 2) 現地調査

現地調査結果は、表 2-7-6 に示すとおりである。

調査の結果、水底土砂に係る判定基準に適合していた。また、ダイオキシン類は環境基準に適合していた。

表 2-7-6(1) 底質調査分析結果（冬季：一般項目）

調査日:令和2年2月25日

項目名 / 地点名		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	水産用水基準
気温	℃	12.8	12.8	13.0	15.0	-
泥温	℃	14.8	14.5	14.5	16.0	-
水深	m	11.5	10.2	19.0	4.0	-
水素イオン濃度 (pH)	-	7.7	7.9	7.7	7.7	-
化学的酸素要求量(CODsed)	mg/g	4.5	0.8	5.1	30	20 以下
強熱減量	%	2.6	2.0	3.3	13	-
硫化物	mg/g	0.06	0.02	0.05	0.27	0.2 以下
油分(n-ヘキサン抽出物質)	mg/g	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1.1	1 以下

注) 色が付いている項目は、水産用水基準を超過した項目を示している。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(水質・底質)業務委託 報告書」(令和2年5月、静岡県清水港管理局)

表 2-7-6(2) 底質調査分析結果（春季：一般項目）

調査日:令和2年4月8日

項目名 / 地点名		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	水産用水基準
気温	℃	16.3	18.1	17.6	16.3	-
泥温	℃	16.1	15.0	16.1	16.2	-
水深	m	7.5	9.6	19.5	4.0	-
水素イオン濃度 (pH)	-	7.9	7.8	7.3	7.4	-
化学的酸素要求量(CODsed)	mg/g	4.3	0.8	4.6	28	20 以下
強熱減量	%	5.3	2.1	4.7	11	-
硫化物	mg/g	0.06	0.01 未満	0.05	0.32	0.2 以下
油分(n-ヘキサン抽出物質)	mg/g	0.1	0.1 未満	0.1 未満	1.1	1 以下

注) 色が付いている項目は、水産用水基準を超過した項目を示している。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(水質・底質)業務委託 報告書」(令和2年5月、静岡県清水港管理局)

表 2-7-6(3) 底質調査分析結果（夏季：一般項目）

調査日:令和2年8月17日

項目名 / 地点名		St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	水産用水基準
気温	℃	32.8	32.0	32.1	32.9	-
泥温	℃	29.6	28.3	20.2	27.9	-
水深	m	3.1	8.7	22.4	2.9	-
水素イオン濃度 (pH)	-	8.5	8.2	7.9	8.0	-
化学的酸素要求量(CODsed)	mg/g	1.4	1.0	11	71	20 以下
強熱減量	%	1.8	2.4	5.1	20.7	-
硫化物	mg/g	<0.01	<0.01	0.01	0.37	0.2 以下
油分(n-ヘキサン抽出物質)	mg/g	<0.1	0.1	0.1	0.7	1 以下

注) 色が付いている項目は、水産用水基準を超過した項目を示している。

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(水質・底質)報告書」  
(令和2年10月、静岡県清水港管理局)

表 2-7-6(4) 底質調査分析結果 (夏季: その他項目)

調査日: 令和 2 年 8 月 17 日

項目名 / 検体名	単位	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	水底土砂に係る判定基準・環境基準
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1 以下
シアン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1 以下
六価クロム化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.5 以下
ヒ素又はその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	0.006	0.006	0.1 以下
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005 以下
アルキル水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003 以下
有機リン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1 以下
銅又はその化合物	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	3 以下
亜鉛又はその化合物	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	2 以下
ふっ化物	mg/L	<0.1	0.1	0.3	0.3	15 以下
ベリリウム又はその化合物	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	2.5 以下
クロム又はその化合物	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	2 以下
ニッケル又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	1.2 以下
バナジウム又はその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	1.5 以下
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.04 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.4 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	3 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06 以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.3 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.1 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02 以下
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06 以下
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.03 以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2 以下
セレン又はその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1 以下
有機塩素化合物	mg/kg 湿	<4	<4	<4	<4	40 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.5 以下
ダイオキシン類(含有)	pg-TEQ/g	0.56	0.37	4.2	31	150 以下
ダイオキシン類 DXN(溶出)	pg-TEQ/L	0.050	0.026	3.8	1.8	10 以下

資料:「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(水質・底質)報告書」  
(令和 2 年 10 月、静岡県清水港管理局)

## 2-8 地形の現況

### (1) 地形

国土地理院の「日本の典型地形」に選定されている、清水港及びその周辺地域の典型地形は、表 2-8-1 及び図 2-8-1 に示すとおりである。

表 2-8-1 清水港及びその周辺地域における主な典型地形

No.	地形項目	名称
1	岩石海岸	由比海岸
2	砂嘴	三保の分岐砂嘴
3	砂浜	三保松原
4	バッドランド	久能山周辺
5	地層等の見える大露頭	日本平動物園
6	指標テフラの見える露頭	静岡大学南方の露頭

(備考) 地形項目の定義は、以下に示すとおりである。

1. 岩石海岸: 基盤岩石が露出している海岸。
2. 砂嘴: 沿岸流によって運ばれた砂礫が湾口の一方の端から海中に細長く堆積して堤状をなすもの。
3. 砂浜: 砂の多く堆積した浜。
4. バッドランド: 無数のかれ谷が密に深く刻み込まれ急斜面の斜面と、細かなひだが入り組む複雑に発達した水系網を特徴とする地形。
5. 地層等の見える大露頭: 岩石・地層・鉱床などの新鮮な部分が地表に現れている部分。
6. 指標テフラの見える露頭: 過去の研究等によって堆積した年代や原因となった火山体等が特定できる指標テフラが見える露頭。

資料: 「日本の典型地形に関する調査」(平成 7 年～平成 11 年、国土地理院)

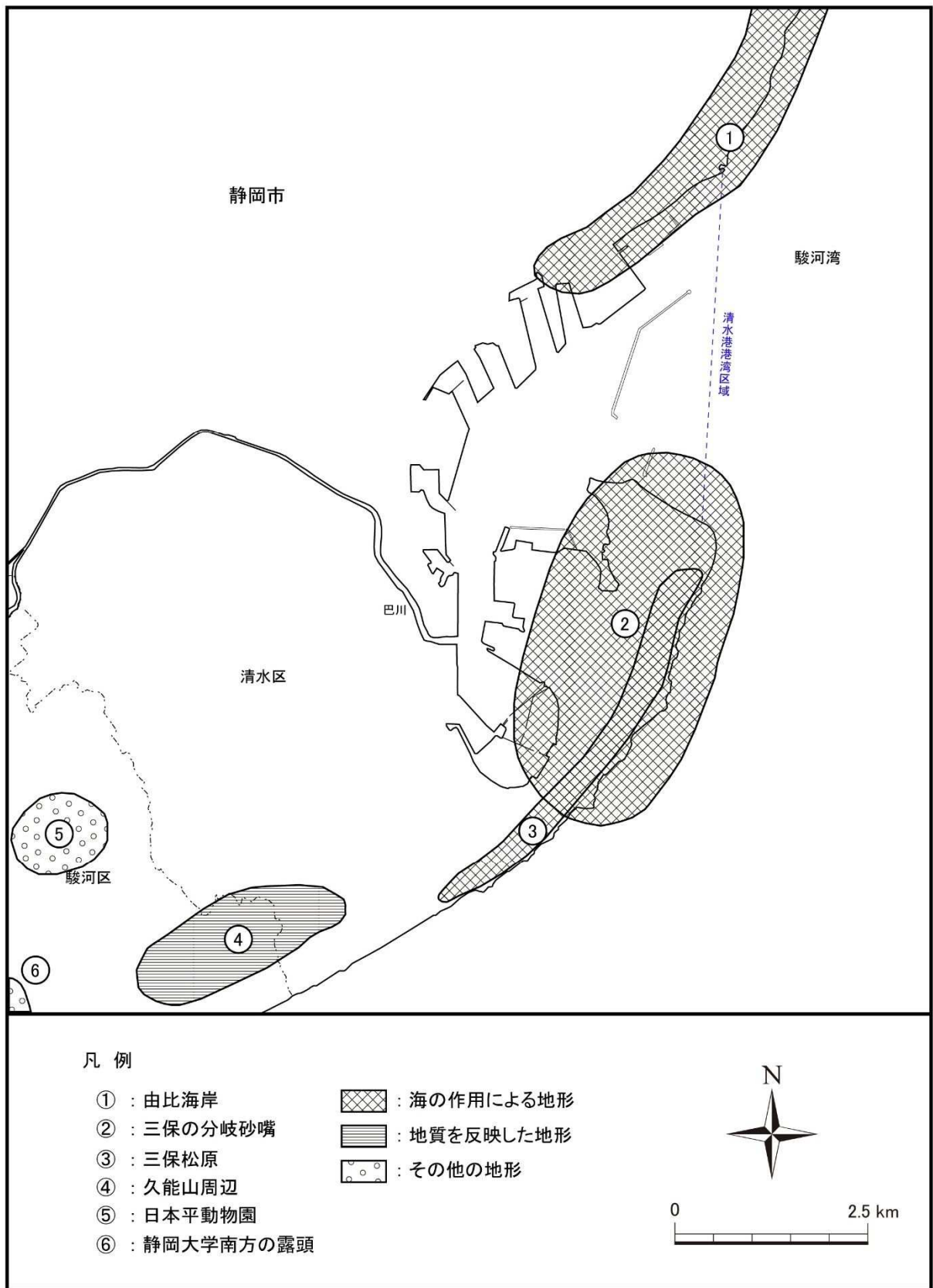


図 2-8-1 清水港及びその周辺地域における主な典型地形の位置

資料:「日本の典型地形に関する調査」(平成 7 年～平成 11 年、国土地理院)

## 2-9 生物の現況

### (1) 陸生生物

#### 1) 陸生植物

##### ① 既存資料調査

清水港及びその周辺地域における現存植生図は図 2-9-1 に示すとおりである。

計画地周辺は、工場地帯や市街地が多くを占めているため、自然植生が広く分布することはないが、清水港後背地には、富士山世界文化遺産の構成資産である「三保松原」が存在しており、クロマツ植林、畑雑草群落、砂丘植生等が分布している。また、久能山・日本平周辺では、コナラ群落、シイ・カシ二次林、スギ・ヒノキ・サワラ植林、果樹園等が分布している。

清水港及びその周辺地域における特定植物群落は表 2-9-1、位置図は図 2-9-2 に示すとおりである。特定植物群落には、三保の松原や久能山の照葉樹林等が存在する。

清水港及びその周辺地域における保安林の指定状況は図 2-9-3 に示すとおりである。



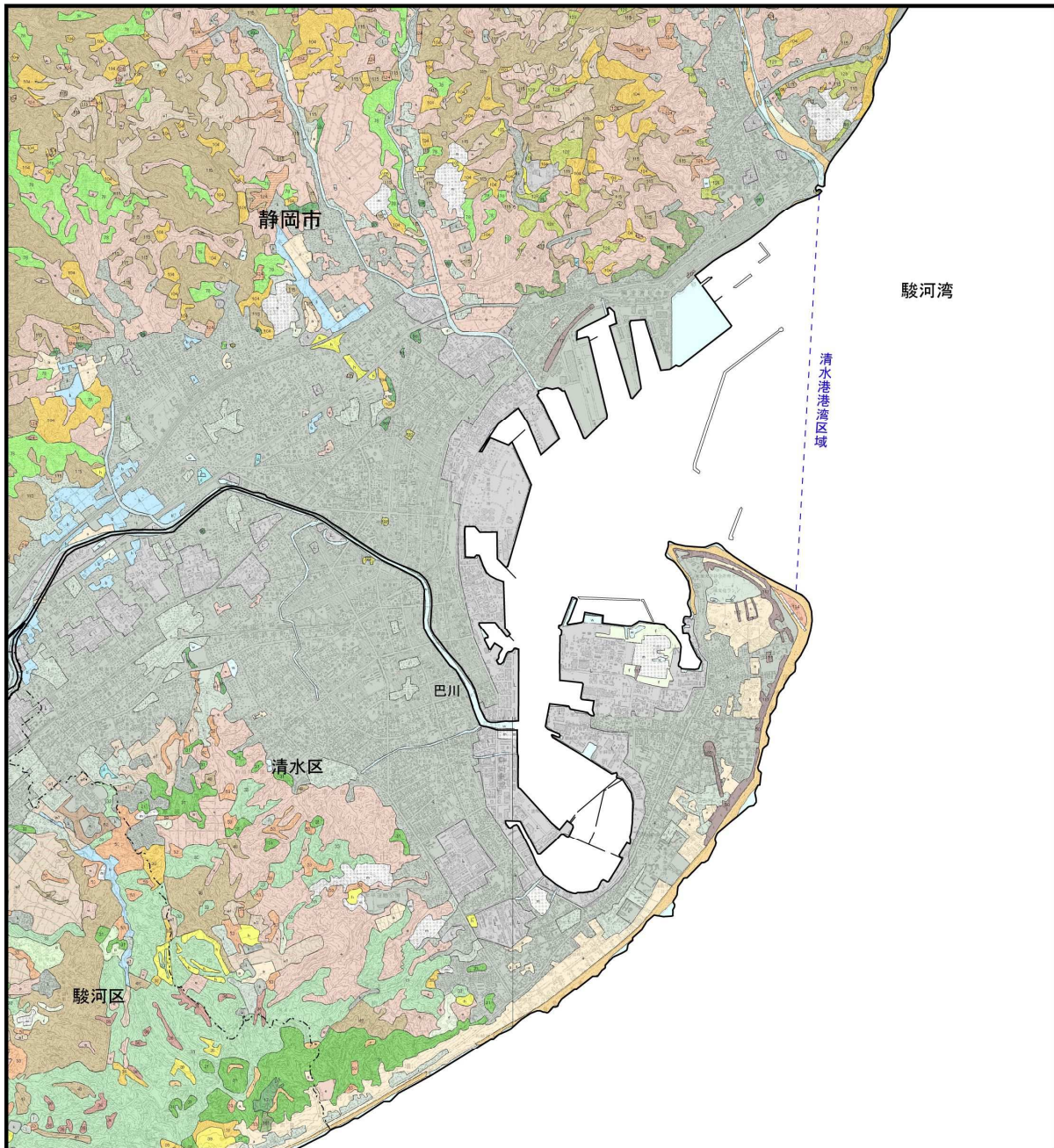


図 2-9-1 清水港及びその周辺地域の現存植生図

資料:「第6・7回自然環境保全基礎調査植生調査」(環境省自然環境局 生物多様性センター)

表 2-9-1 清水港及びその周辺地域の特定植物群落

図中 番号	特定植物群落名	選定基準
1	清見寺のシイ・タブ林	A・E
2	袖師神明宮の社叢	E
3	三保の松原	E
4	久能山の照葉樹林	A

(備考) 特定植物群落の選定基準は、以下に示すとおりである。

A: 原生林もしくはそれに近い自然林

B: 国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群

C: 比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群

D: 砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの

E: 郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの

F: 過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの

G: 乱獲その他の人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群

H: その他、学術上重要な植物群落または個体群(種の多様性の高い群落、貴重種の生息地となっている群落等)

資料:「第 2・3・5 回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査)」  
(環境省自然環境局 生物多様性センター)  
環境アセスメントデータベース EADAS(環境省)

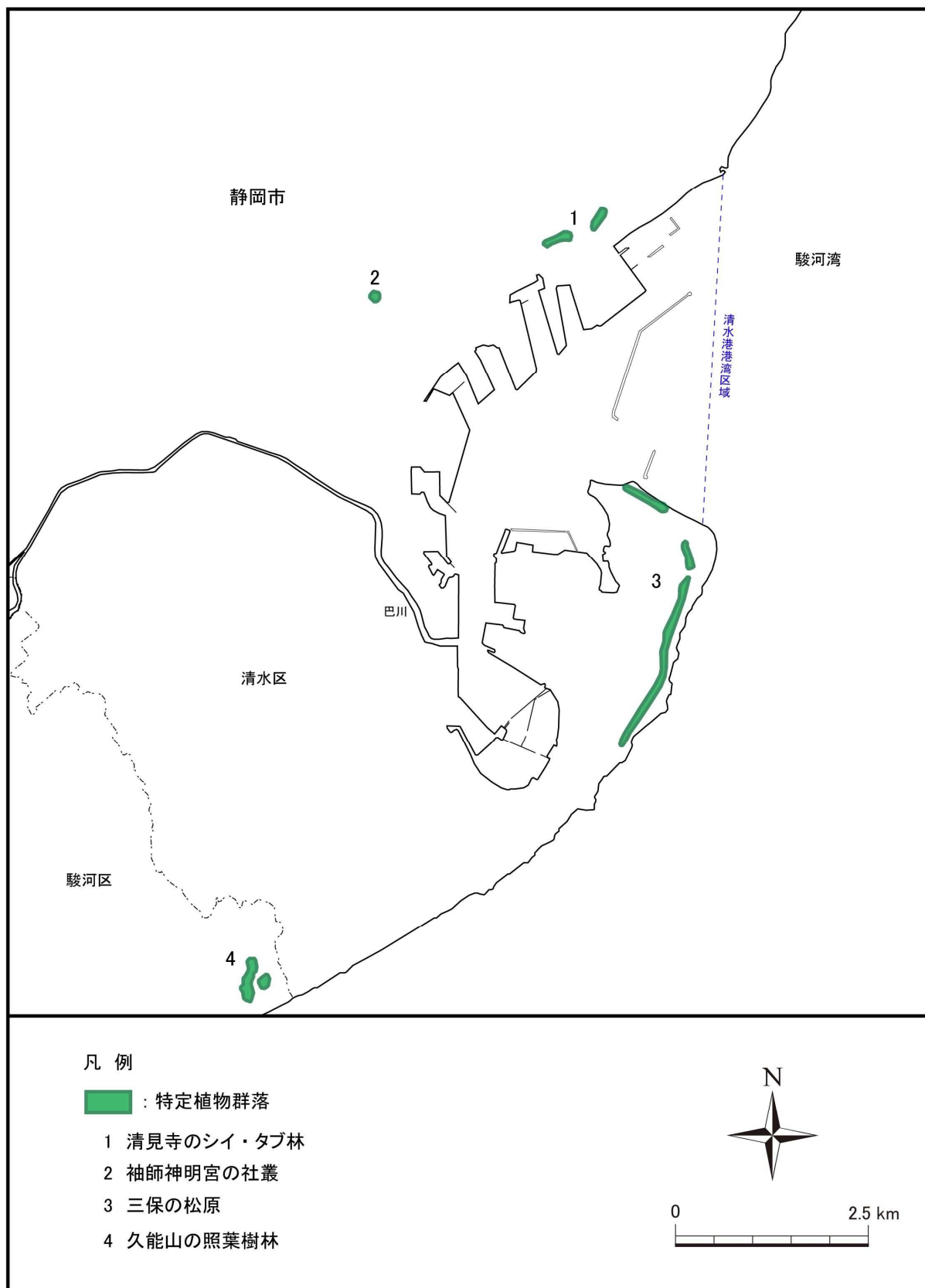


図 2-9-2 清水港及びその周辺地域の特定植物群落位置図

資料:「第 2・3・5 回自然環境保全基礎調査(特定植物群落調査)」(環境省自然環境局 生物多様性センター)  
環境アセスメントデータベース EADAS(環境省)

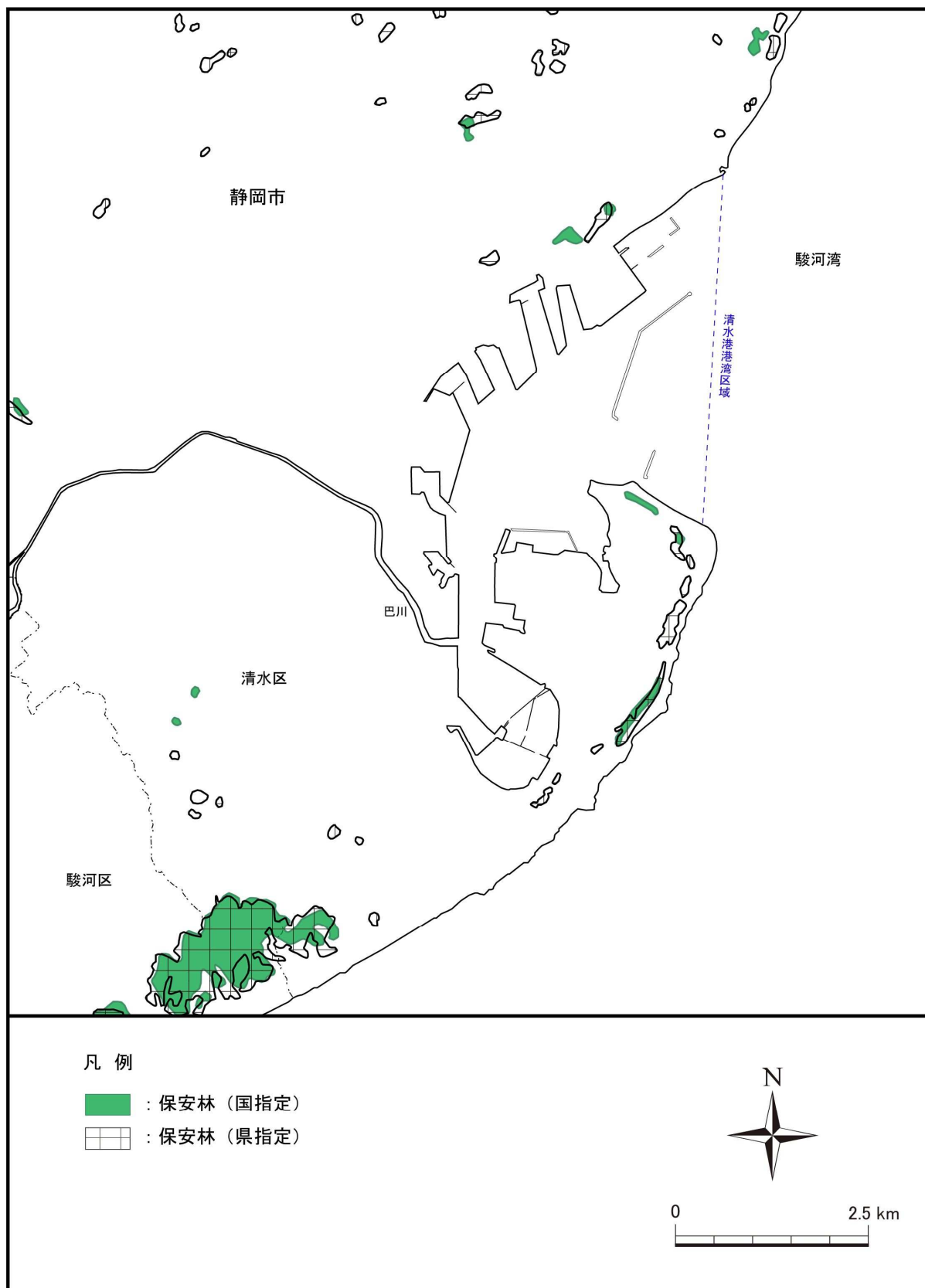


図 2-9-3 清水港及びその周辺地域の保安林指定状況図

資料:「国土数値情報(森林地域)」(平成 27 年度、国土交通省国土政策局)  
「静岡県森林情報共有システム(保安林)」(静岡県 HP)  
環境アセスメントデータベース EADAS(環境省)

## ② 海浜植生（現地調査）

### a. 調査概要

清水港及びその周辺地域の植生の生育状況を把握するため、現地調査を実施した。調査概要は表 2-9-2、調査地点は図 2-9-4 に示すとおりである。

表 2-9-2 海浜植生調査の実施状況

調査項目	海浜植生調査
調査時期	冬季：令和 2 年 2 月 7 日 春季：令和 2 年 4 月 21 日 夏季：令和 2 年 7 月 21 日 秋季：令和 2 年 10 月 3 日
調査地点	No. 1、No. 2
調査方法	調査地点を踏査し、植物の分布を観察した。

資料：「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)  
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」  
(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

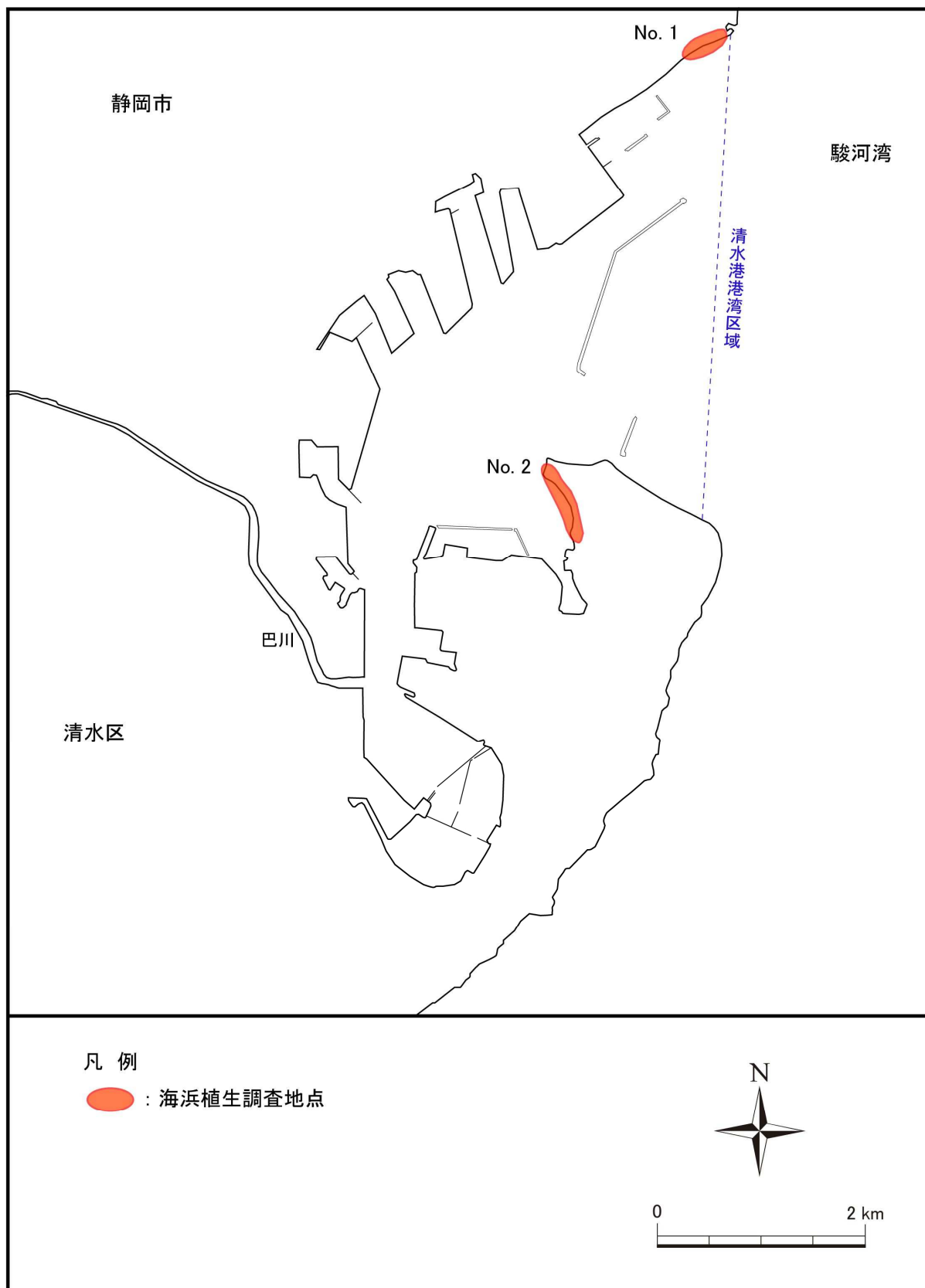


图 2-9-4 調査地点位置図

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)  
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

**b. 調査結果**

調査結果は表 2-9-3、外来種確認一覧は表 2-9-4 に示すとおりである。

清水港及びその周辺地域においては、37 科 82 種の海浜性植物の生育が確認されており、重要種については確認されなかったが、外来種は 27 種確認された。

表 2-9-3 現地調査結果（海浜植生）

No.	分類群	目和名	科和名	種名		調査地点									
				和名	学名	冬季		春季		夏季		秋季			
						No. 1	No. 2	No. 1	No. 2	No. 1	No. 2	No. 1	No. 2		
1	種子植物門	オモダカ	サトイモ	サトイモ	<i>Colocasia esculenta</i> var. <i>esculenta</i>										
2	被子植物門	ヤマノイモ	ヤマノイモ	ヒメコロロ	<i>Dioscorea tenuipes</i>										
3	単子葉類	クサスギカズラ	ヒガンバナ	ノビル	<i>Allium macrostemon</i>										
4				ハマオモト	<i>Crimm asiaticum</i> var. <i>japonicum</i>										
5				クサスギカズラ	アツバキミガヨラン										
6				ヤシ	トウジュロ										
7				ツユクサ	ツユクサ										
8				イネ	スズメノヤリ										
9				カヤツリグサ	コウボウシバ										
10					コウボウムギ										
11					ハマスダ										
12				イネ	ジュズダマ										
13					ギョウギシバ										
14					ヒシバ										
15					イヌビエ										
16					オセシバ										
17					カモジグサ										
18					ケカモノハシ										
19					ネズミムギ										
20					シマズメノヒエ										
21					ツルヨシ										
22					スズメノカタビラ										
23					キンエノコロ										
24					ハマエノコロ										
25					セイバンモロコシ										
26					シバ										
-					イネ科の一種 <sup>注)</sup>										
27	種子植物門	キンボウゲ	ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i>										
28	被子植物門	キンボウゲ	キンボウゲ	センニンノウ	<i>Clematis terniflora</i>										
29	真正双子葉類			ボタンヅル	<i>Clematis aptifolia</i>										
30				マメ	アレチヌスビトハギ										
31					ツルマメ										
32					ヤハズノウ										
33					ハマエンドウ										
34					メドハギ										
35					コメツブウマゴヤシ										
36					スズメノエンドウ										
37					ヤハズエンドウ										
38					ツルアズキ										
39				バラ	アサ										
40					クワ										
41					イラクサ										
42					バラ										
43					フナ										
44					ウリ										
45					カタバミ										
46					キントラノオ										
47					フトモモ										
48					ムクロジ										
49					アブラナ										
50					ナデシコ										
51															
52															
53															
54															
55															
56															
57															
58															
59															
60															
61															
62															
63															
64															
65															
66															
67															
68															
69															
70															
71															
72															
73															
74															
75															
76															
77															
78															
79															
80															
81															
82															
計	1門2綱	22目	37科		82種	4種	33種	11種	33種	24種	40種	22種	42種		

注) 「イネ科の一種」は、種名が不明なため種数に含めない。

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)  
 「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)



表 2-9-4 外来種確認一覧（海浜植生）

No.	分類群	目名	科名	種名		調査地点								外来種		
				和名	学名	冬季		春季		夏季		秋季		I	II	
						No. 1	No. 2	No. 1	No. 2	No. 1	No. 2	No. 1	No. 2			
1	種子植物門	ヤシ	ヤシ	トウジユロ	<i>Trachycarpus wagnerianus</i>		●							●		国外
2	被子植物門	イネ	イネ	ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i>		●									国外
3	単子葉類			ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>		●		●	●	●			●		国外
4				シマズメノヒエ	<i>Paspalum dilatatum</i>									●		国外
5				セイバンモロコシ	<i>Sorghum propinquum</i>		●		●	●	●			●		国外
6	種子植物門	マメ	マメ	アレチヌスビトハギ	<i>Desmodium paniculatum</i>						●			●		国外
7	被子植物門			コマツブウマゴヤシ	<i>Medicago lupulina</i>		●		●							国外
8	真正双子葉類	ウリ	ウリ	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>			●	●	●			●			特定 国外
9		キントランノオ	トウダイグサ	オオニシキノウ	<i>Euphorbia nutans</i>									●		国外
10		フトモモ	アカバナ	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>		●		●	●	●		●	●		国外
11				メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>		●							●		国外
12		アブラナ	アブラナ	カラシナ	<i>Brassica juncea</i>				●							国外
13		ナデシコ	オシロイバナ	オシロイバナ	<i>Mirabilis jalapa</i>					●	●	●				国外
14		リンドウ	アカネ	メリケンムグラ	<i>Diadema virginiana</i>						●			●		国外
15		ナス	ヒルガオ	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta campestris</i>						●			●		国外
16				ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i>									●		国外
17			ナス	アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum pycnanthum</i>									●		国外
18		シソ	オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica var. asiatica</i>						●					国外
19			シソ	ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i>		●		●	●	●	●	●			国外
20			クマツツラ	シチヘンゲ	<i>Lantana camara ssp. aculeata</i>		●		●	●	●	●	●			国外
21		キク	キク	オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>					●	●	●	●			国外
22				ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i>		●		●							国外
23				アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>					●	●	●	●			国外
24				コセンダングサ	<i>Bidens pilosa var. pilosa</i>		●		●					●		国外
25				ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>					●	●			●		国外
26				セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>						●			●		国外
27				オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>						●		●	●		国外
計	1門2綱	12目	15科		27種	0種	12種	1種	10種	9種	16種	8種	18種	1種	27種	

注) 1. 本目録の配列及び和名・学名等は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和元年度生物リスト)」「令和元年、水情報国土データ管理センター」に拠った。  
 2. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

【外来種の選定基準】

I「特定外来生物による生態系に係る被害の防止に関する法律」(平成 27 年、環境省)

特定: 特定外来生物

II「外来種ハンドブック」(平成 14 年、地人書館)に掲載された外来種

国外: 国外移入

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)  
 「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

## 2) 陸生動物

### ① 哺乳類

清水港及びその周辺地域における哺乳類の確認種は表 2-9-5 に、分布状況は図 2-9-5 に示すとおりである。

「第 5 回自然環境保全基礎調査（生物多様性調査・種の多様性調査 第 1 期）」によると、清水港周辺を含む区域において、タヌキ、ツキノワグマ、ムササビの分布が確認されている。

また、調査対象種をニホンザル、ニホンジカ、ツキノワグマ・ヒグマ、イノシシ、キツネ、タヌキ、アナグマ、カモシカ、マンブスを対象にした「第 6 回自然環境保全基礎調査（生物多様性調査・種の多様性調査 第 2 期）」によると、清水港周辺を含む区域において、キツネ、タヌキ等の中型哺乳類が中心であるが、一部でイノシシ、カモシカ、アナグマ等の分布が確認されている。

表 2-9-5(1) 哺乳類の確認種一覧（第 5 回自然環境保全基礎調査）

区域	確認種	計
①	タヌキ、ツキノワグマ、ムササビ	3 種

資料:「第 5 回自然環境保全基礎調査(生物多様性調査・種の多様性調査 第 1 期)」  
(平成 9～10 年度、環境庁)

表 2-9-5(2) 哺乳類の確認種一覧（第 6 回自然環境保全基礎調査）

区域	確認種	計
①	アナグマ、イノシシ、カモシカ、キツネ、タヌキ、ツキノワグマ・ヒグマ、ニホンザル、ニホンジカ	8 種
②	イノシシ、カモシカ、キツネ、タヌキ	4 種
③	アナグマ、キツネ、タヌキ	3 種
④	タヌキ	1 種

資料:「第 6 回自然環境保全基礎調査(生物多様性調査・種の多様性調査 第 2 期)」  
(平成 16～17 年度、環境省)

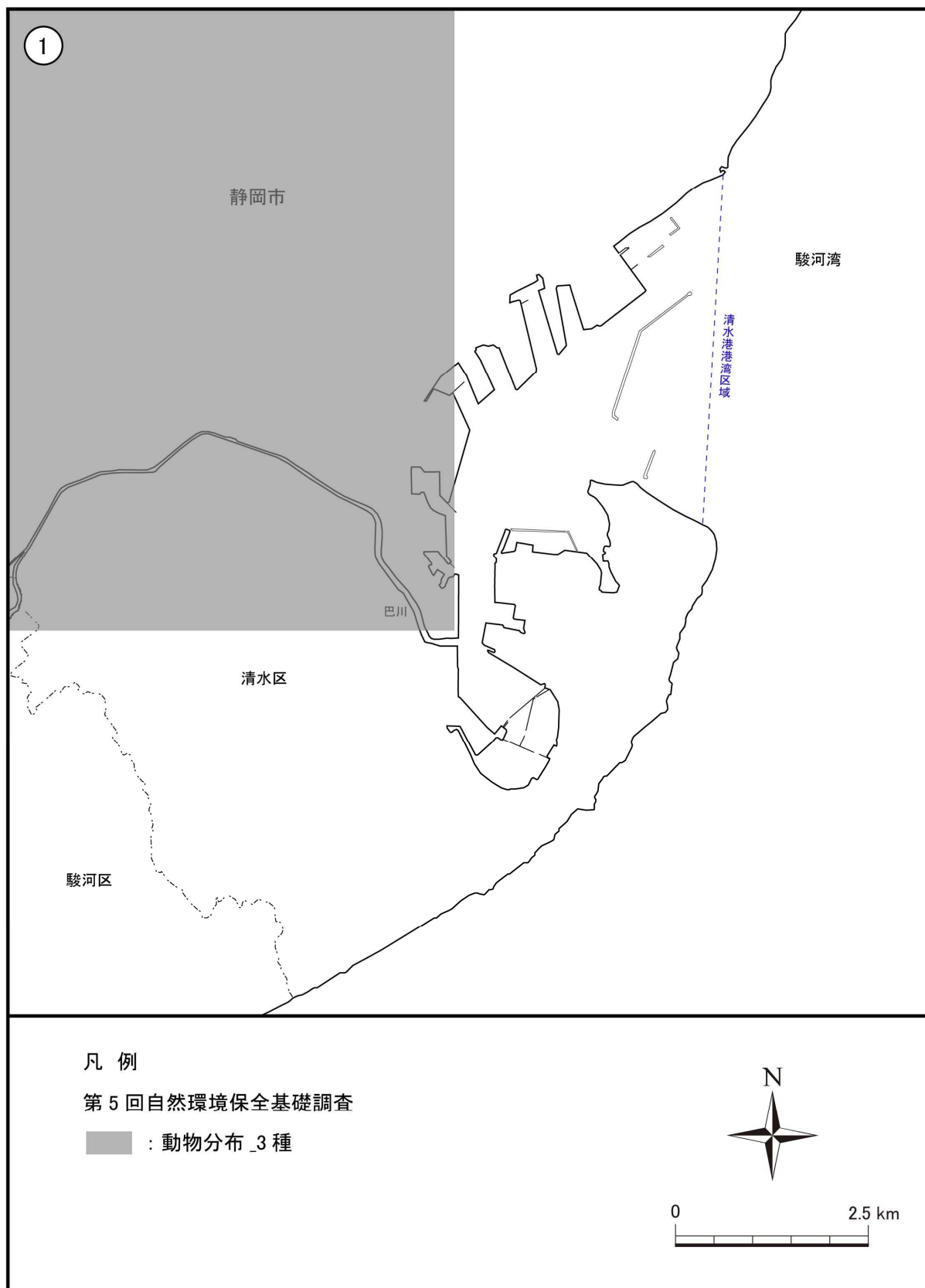


図 2-9-5(1) 哺乳類の分布状況

資料:「第5回自然環境保全基礎調査(生物多様性調査・種の多様性調査 第1期)」  
(平成9~10年度、環境庁)

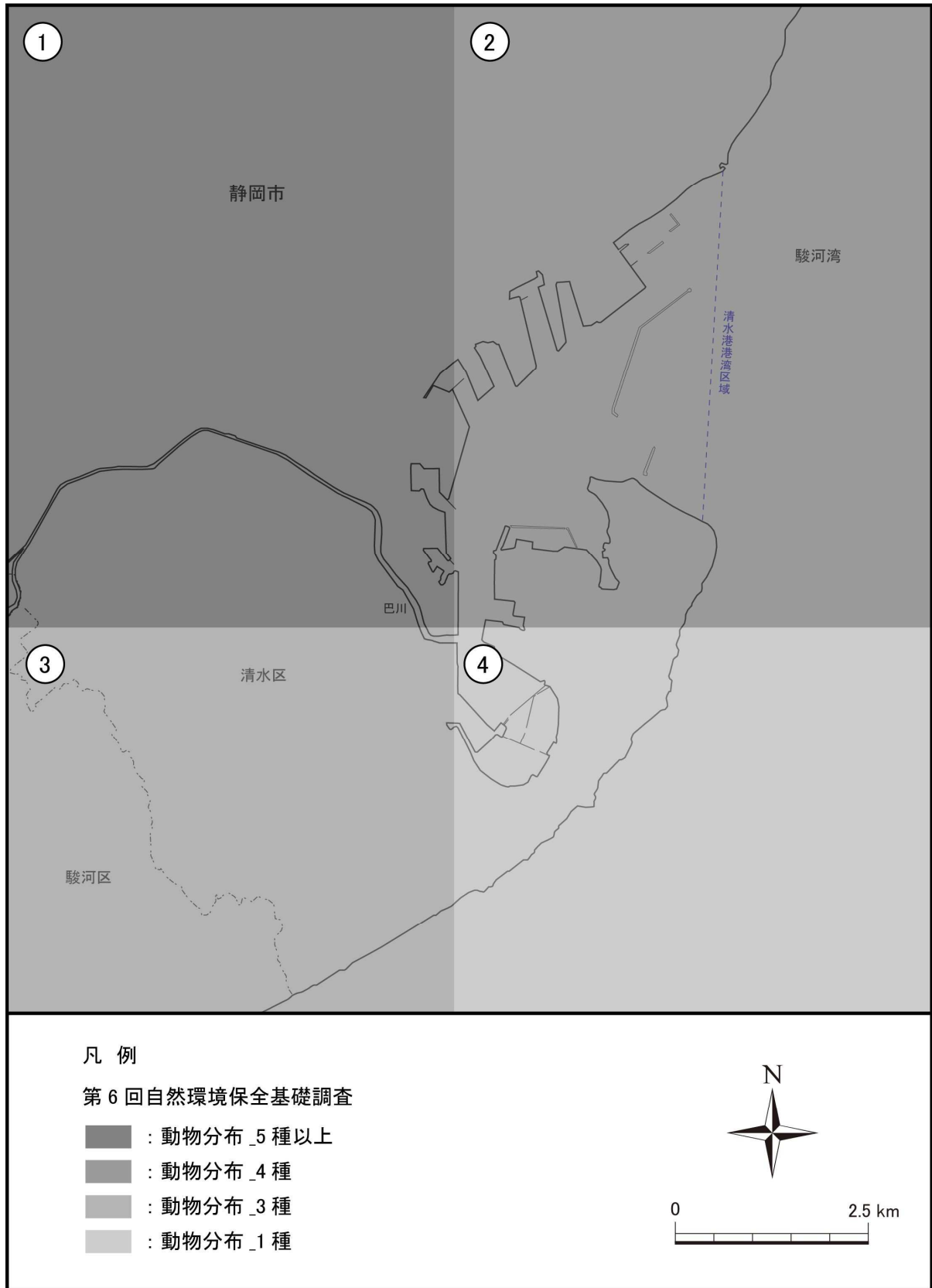


図 2-9-5(2) 哺乳類の分布状況

資料:「第6回自然環境保全基礎調査(生物多様性調査・種の多様性調査 第2期)」  
(平成16~17年度、環境省)

清水港及びその周辺地域における哺乳類の重要種確認一覧は、表 2-9-6 に示すとおりである。

「まもりたい静岡県の野生生物 2019 -静岡県レッドデータブック- (動物編)」(平成 31 年 3 月、静岡県くらし・環境部環境局自然保護課) (以下、静岡県 RDB) によると、清水港周辺を含む区域において、ヒナコウモリ、ヤマネ、ニホンザルの 3 種が、平成 16 年以降に確認されている。

表 2-9-6 清水港及びその周辺地域における重要種確認一覧 (哺乳類)

No.	科名	種名	学名	重要度カテゴリー	
				環境省 RL	静岡県 RDB
1	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ	<i>Vespertilio sinensis</i>	-	情報不足 (DD)
2	ヤマネ	ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i>	準絶滅危惧 (NT)	情報不足 (DD)
3	オナガザル	ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i>	-	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)

注) 環境省 RL 及び静岡県 RDB の重要度カテゴリー区分は、次のとおりである。

絶滅 (EX) : 静岡県では既に絶滅したと考えられる種

野生絶滅 (EW) : 飼育、栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧 I 類 (CR+EN) : 絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧 IA 類 (CR) : ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

絶滅危惧 IB 類 (EN) : IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

絶滅危惧 II 類 (VU) : 絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧 (NT) : 存続基盤が脆弱な種

情報不足 (DD) : 評価するだけの情報が不足している種

絶滅のおそれのある地域個体群 (LP) : 地域的に孤立している地域個体群で、絶滅のおそれが高いもの

要注目種 (N) : 静岡県独自のカテゴリー

現状不明 (N-I) : 現状が不明な種

分布上注目種 (N-II) : 絶滅の危険性は小さいが、分布上注目される種

部会注目種 (N-III) : その他各部会で注目すべきと判断した種

資料: 「まもりたい静岡県の野生生物 2019 -静岡県レッドデータブック- (動物編)」  
(平成 31 年 3 月、静岡県くらし・環境部環境局自然保護課)

## ② 鳥類（現地調査）

### a. 調査概要

清水港及びその周辺地域の鳥類の生息状況を把握するため、現地調査を実施した。調査概要は表 2-9-7、調査地点は図 2-9-6 に示すとおりである。

表 2-9-7 鳥類調査の実施状況

調査項目	鳥類調査
調査時期	冬季：令和 2 年 2 月 6 日 ～ 7 日 春季：令和 2 年 4 月 20 日 ～ 21 日 夏季：令和 2 年 7 月 20 日 ～ 21 日 秋季：令和 2 年 10 月 2 日 ～ 3 日
調査地点	定点調査：St. 1、St. 2、St. 3、St. 4、St. 5 ラインセンサス調査：R-1、R-2、R-3、R-4、R-5、R-6 任意調査：St. 1 から R-6 の間で定点とラインを補完する箇所
調査方法	定点観察、ラインセンサス及び任意観察法

資料：「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)  
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」  
(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

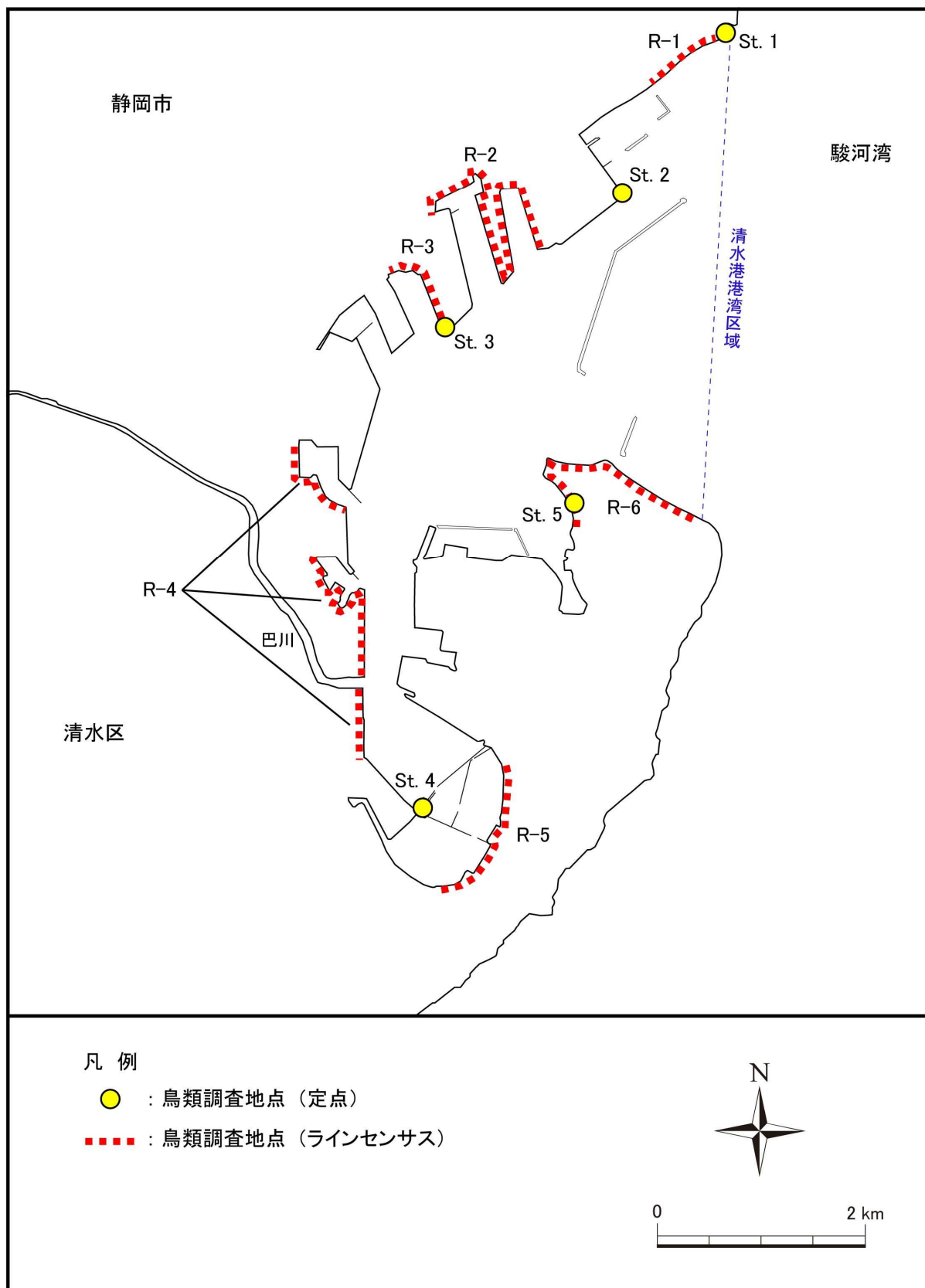


図 2-9-6 鳥類調査地点 (定点・ラインセンサス・任意調査)

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)  
「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

b. 調査結果

調査結果は表 2-9-8、重要種・外来種確認一覧は表 2-9-9 に示すとおりである。調査の結果、冬季は 19 科 37 種、春季は 19 科 34 種、夏季は 18 科 28 種、秋季は 20 科 28 種の鳥類の生息が確認されており、このうち重要種は冬季では 2 種、春季では 3 種、夏季では 5 種、秋季では 2 種、外来種は冬季では 1 種、春季では 2 種、夏季では 1 種、秋季では 1 種確認された。なお、清水港及びその周辺地域における鳥獣保護区等の位置は図 2-9-7 に示すとおりである。

表 2-9-8(1) 現地調査結果 (鳥類：冬季)

No.	目名	科名	種名		ライセンスサス						定点調査					任意調査		
			和名	学名	R-1	R-2	R-3	R-4	R-5	R-6	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	St. 5			
1	カモ目	カモ科	ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>						●								
2			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>		●												
3			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>			●	●	●	●	●						●	
4			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>							●							
5			スズガモ	<i>Aythya marila</i>				●									●	
6			クロガモ	<i>Melanitta americana</i>				●				●						
7	カイツブリ目	カイツブリ科	カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>	●	●	●	●	●	●	●		●				●	
8	ハト目	ハト科	カラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>			●	●	●									
9			キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>						●								
10	カツオドリ目	ウ科	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11	ペリカン目	サギ科	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>								●						
12			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>		●												
13	ツル目	クイナ科	オオバン	<i>Fulica atra</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14	チドリ目	シギ科	アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>														●
15			イノシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>				●										
16		カモメ科	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>		●	●	●	●	●			●		●			
17			ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>		●						●						
18			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>													●	
19			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
21		タカ科	トビ	<i>Milvus migrans</i>		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
22	スズメ目	カラス科	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
23			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>		●						●						●
24		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amurensis</i>		●		●		●						●	●	
25		メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>				●	●	●	●	●				●		
26		ムクドリ科	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>		●		●										
27		ヒタキ科	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>				●			●							
28			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>				●			●							
29			イノヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>				●			●					●		
30		スズメ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>		●			●			●						
31		セキレイ科	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
32			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>							●							
33			ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>						●								
34			タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>							●							
35		アトリ科	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>				●			●					●		
36		ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>							●						●	
37			アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>														●
計	9目	19科	37種	種数	2	16	7	20	13	16	16	5	5	14	11	1		

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)



表 2-9-8(2) 現地調査結果 (鳥類：春季)

No.	目名	科名	種名		ラインセンサス						定点調査					任意調査		
			和名	学名	R-1	R-2	R-3	R-4	R-5	R-6	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	St. 5			
1	カモ目	カモ科	コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>				●										
2			コガモ	<i>Anas crecca</i>					●									
3			スズガモ	<i>Aythya marila</i>			●			●								●
4	カイツブリ目	カイツブリ科	カンムリカイツブリ	<i>Fuliceps cristatus</i>				●		●								●
5	ハト目	ハト科	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>			●		●									
6	カツオドリ目	ウ科	ヒメウ	<i>Phalacrocorax pelagicus</i>			●											
7			カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
8			ウミウ	<i>Phalacrocorax capillans</i>			●											
9	ペリカン目	サギ科	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>		●		●	●			●	●					●
10			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>								●						
11			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>			●											
12	チドリ目	カモメ科	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>			●	●					●	●				
13			ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>				●					●					
14			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>					●	●			●					
15			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>		●												
16	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>								●						
17		タカ科	トビ	<i>Mibvus migrans</i>		●			●	●			●	●	●			
18	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>						●			●	●	●			●
19	スズメ目	カラス科	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>		●		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
20			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								●	●	●	●	●	●	●
21		シジュウカラ科	ヤマガラ	<i>Poecile varus</i>														●
22			シジュウカラ	<i>Parus minor</i>						●								
23		ツバメ科	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>		●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
24		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>					●	●		●	●	●	●	●	●	●
25		ムクドリ科	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>			●	●	●	●			●	●	●	●	●	●
26		ヒタキ科	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>						●								
27			イノヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>				●		●								
28			キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>						●								●
29		スズメ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>				●	●									●
30		セキレイ科	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>						●			●	●				●
31			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	●	●		●	●	●		●	●	●				●
32			ダヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>								●						
33		アトリ科	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	●	●		●	●	●								
34		ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>														●
計	9目	19科	34種	種数	3	8	10	16	14	16	11	7	8	5	7			9

資料:「令和元年度[第 31-W1750-01 号]清水港社会資本整備総合交付金【港湾事業】に伴う環境現況調査(生態系)業務委託 報告書」(令和 2 年 3 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-8(3) 現地調査結果 (鳥類：夏季)

No.	目名	科名	種名		ラインセンサス						定点調査					任意調査		
			和名	学名	R-1	R-2	R-3	R-4	R-5	R-6	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	St. 5			
1	ハト目	ハト科	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>		●	●	●	●									
2			キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	●			●										
3	カツオドリ目	ウ科	ヒメウ	<i>Phalacrocorax pelagicus</i>								●						
4			カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●
5	ペリカン目	サギ科	ササゴイ	<i>Butorides striata</i>														
6			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>					●			●	●	●	●			
7			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>								●						
8			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>			●											
9	チドリ目	チドリ科	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>								●						
10		カモメ科	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●			
11			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>								●						
12			クロハラアジサシ	<i>Chlidonias hybrida</i>					●									
13	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>								●						
14		タカ科	トビ	<i>Mibvus migrans</i>	●	●		●	●	●		●	●	●	●			
15	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>														●
16	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>									●					
17	スズメ目	カラス科	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
18			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>		●		●	●			●	●	●	●	●	●	●
19		シジュウカラ科	シジュウカラ	<i>Parus minor</i>														●
20		ツバメ科	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>			●	●	●	●			●	●	●	●	●	●
21			イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>														●
22		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>						●							●	●
23		ムクドリ科	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>			●								●	●	●	●
24		ヒタキ科	イノヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>			●				●							
25		スズメ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>		●	●	●	●	●				●	●	●	●	●
26		セキレイ科	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>						●								
27			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>		●	●	●	●	●								
28		アトリ科	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>				●	●	●								●
計	8目	18科	28種	種数	5	10	8	11	11	9	8	9	5	9	6			7

資料:「令和 2 年度[第 31-W1750-01 号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和 2 年 11 月、静岡県清水港管理局)

表 2-9-8(4) 現地調査結果 (鳥類: 秋季)

No.	目名	科名	種名		ラインセンサス						定点調査					任意調査		
			和名	学名	R-1	R-2	R-3	R-4	R-5	R-6	St. 1	St. 2	St. 3	St. 4	St. 5			
1	ハト目	ハト科	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>			●	●									●	
2			キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>					●									●
3	カツオドリ目	ウ科	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	
4	ペリカン目	サギ科	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>		●		●	●		●	●		●	●		●	
5			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>					●		●						●	
6			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>			●		●									
7	ツル目	クイナ科	オオバン	<i>Fulica atra</i>				●										
8	チドリ目	シギ科	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>			●					●						
9		カモメ科	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
10			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>		●												
11	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	●		●	●	●	●		●						
12		タカ科	トビ	<i>Milvus migrans</i>	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		
13	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>							●							
14	スズメ目	モズ科	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>							●						●	
15		カラス科	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>		●	●	●	●	●		●					●	
16			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	●	●		●	●	●								
17		シジュウカラ科	ヤマガラ	<i>Poecile varus</i>							●							
18			シジュウカラ	<i>Parus minor</i>								●						
19		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>				●	●	●								●
20		エナガ科	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>							●							
21		メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>							●							
22		ムクドリ科	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>							●							●
23		ヒタキ科	イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>		●		●				●	●		●			●
24	エゾビタキ		<i>Muscicapa griseisticta</i>							●								
25	スズメ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>	●	●			●	●		●							
26	セキレイ科	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>		●		●	●	●		●		●					
27		セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>												●			
28	アトリ科	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>							●								
計	8目	20科	28種	種数	6	10	7	13	13	15	10	7	4	6	7	5		

資料:「令和2年度[第31-W1750-01号]清水港港湾調査委託(生態系)報告書」(令和2年11月、静岡県清水港管理局)



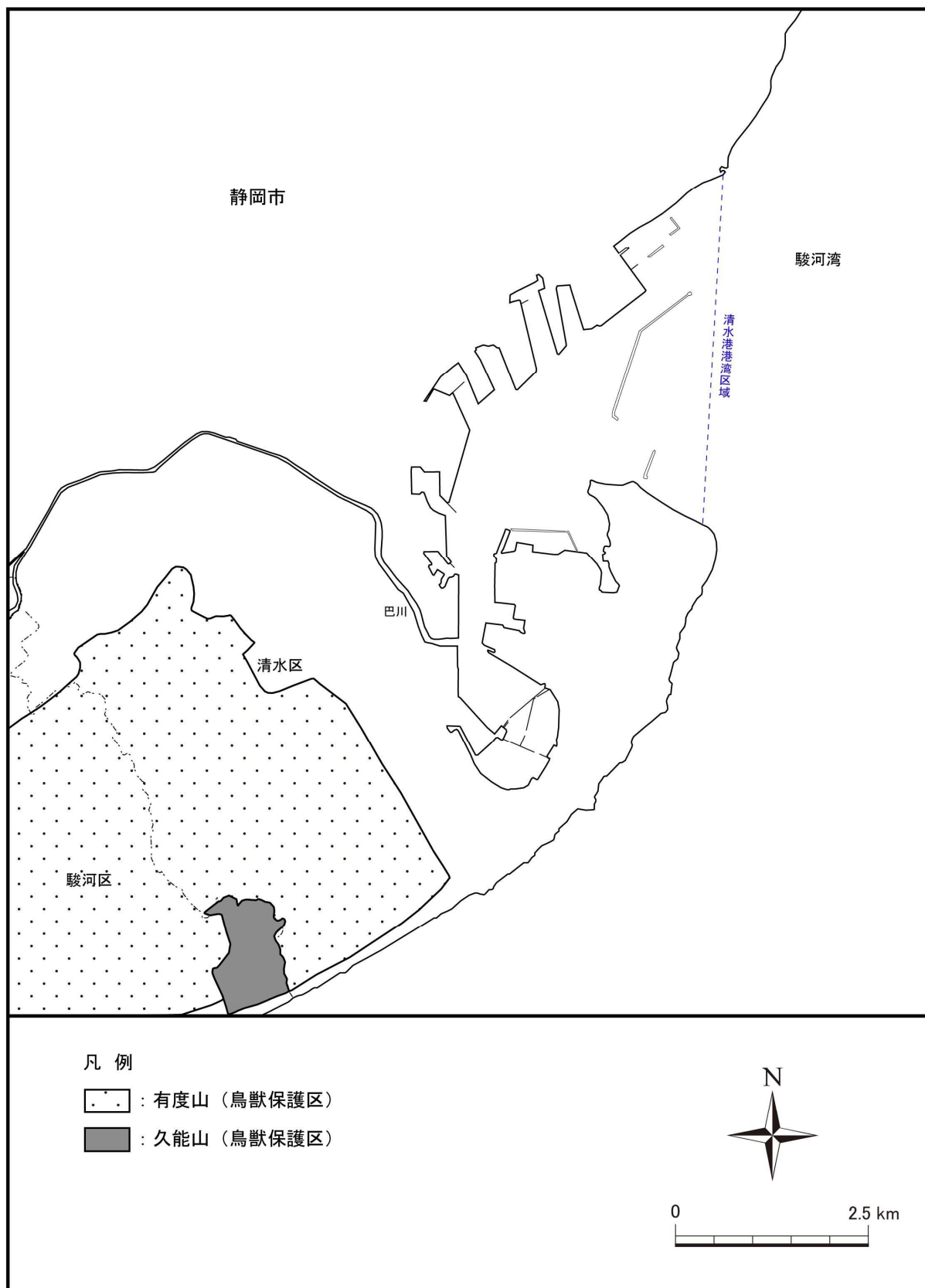


図 2-9-7 清水港及びその周辺地域の鳥獣保護区等位置図

資料:「令和 2 年度静岡県鳥獣保護区等位置図」(令和 2 年、静岡県)  
 環境アセスメントデータベース EADAS(環境省)

### ③ 昆虫類

清水港及びその周辺地域における昆虫類の重要種確認一覧は、表 2-9-10 に示すとおりである。

「まもりたい静岡県の野生生物 2019 -静岡県レッドデータブック-〈動物編〉」(平成 31 年 3 月、静岡県くらし・環境部環境局自然保護課) (以下、静岡県 RDB) によると、清水港周辺を含む区域において、ウラナミアカシジミ、ミヤマシジミ、マイコアカネ、クモガタヒョウモン、コムラサキ、サトキマダラトカゲ、ヒメジャノメ、ヒョウタンゴミムシの 8 種が、平成 12 年以降に確認されている。

表 2-9-10 清水港及びその周辺地域における重要種確認一覧 (昆虫類)

No.	科名	種名	学名	重要度カテゴリー	
				環境省 RL	静岡県 RDB
1	シジミチョウ	ウラナミアカシジミ	<i>Japonica saepestriata saepestriata</i>	-	絶滅危惧 II 類 (VU)
2		ミヤマシジミ	<i>Plebejus argyrognomon praeterinsularis</i>	絶滅危惧 IB 類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)
3	トンボ	マイコアカネ	<i>Sympetrum kumckeli</i>	-	準絶滅危惧 (NT)
4	タテハチョウ	クモガタヒョウモン	<i>Nephargynnis anadyomene ella</i>	-	準絶滅危惧 (NT)
5		コムラサキ	<i>Apatura metis substituta</i>	-	分布上注目種 (N-II)
6		サトキマダラトカゲ	<i>Neope goschkevitschii</i>	-	部会注目種 (N-III)
7		ヒメジャノメ	<i>Mycalesis gotama fulginia</i>	-	部会注目種 (N-III)
8	オサムシ	ヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites aterrimus</i>	-	部会注目種 (N-III)

注) 環境省 RL 及び静岡県 RDB の重要度カテゴリー区分は、次のとおりである。

絶滅 (EX) : 静岡県では既に絶滅したと考えられる種

野生絶滅 (EW) : 飼育、栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧 I 類 (CR+EN) : 絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧 IA 類 (CR) : ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

絶滅危惧 IB 類 (EN) : IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

絶滅危惧 II 類 (VU) : 絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧 (NT) : 存続基盤が脆弱な種

情報不足 (DD) : 評価するだけの情報が不足している種

絶滅のおそれのある地域個体群 (LP) : 地域的に孤立している地域個体群で、絶滅のおそれが高いもの

要注目種 (N) : 静岡県独自のカテゴリー

現状不明 (N-I) : 現状が不明な種

分布上注目種 (N-II) : 絶滅の危険性は小さいが、分布上注目される種

部会注目種 (N-III) : その他各部会で注目すべきと判断した種

資料:「まもりたい静岡県の野生生物 2019 -静岡県レッドデータブック-〈動物編〉」  
(平成 31 年 3 月、静岡県くらし・環境部環境局自然保護課)

#### ④ 両生類・爬虫類

清水港及びその周辺地域における両生類・爬虫類の重要種確認一覧は、表 2-9-11 に示すとおりである。

「まもりたい静岡県の野生生物 2019 -静岡県レッドデータブック- (動物編)」(平成 31 年 3 月、静岡県くらし・環境部環境局自然保護課) (以下、静岡県 RDB) によると、清水港周辺を含む区域において、両生類はニホンアカガエルの 1 種、爬虫類はアカウミガメ、ニホンイシガメ、クサガメ、ニホンスッポンの 4 種が、平成 16 年以降に確認されている。

表 2-9-11 清水港及びその周辺地域における重要種確認一覧 (両生類・爬虫類)

No.	分類群	科名	種名	学名	重要度カテゴリー	
					環境省 RL	静岡県 RDB
1	両生類	アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	-	絶滅危惧 II 類 (VU)
2	爬虫類	ウミガメ	アカウミガメ	<i>Caretta caretta</i>	絶滅危惧 IB 類 (EN)	絶滅危惧 IA 類 (CR)
3		イシガメ	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧 (NT)
4			クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>	-	部会注目種 (N-III)
5		スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis</i>	情報不足 (DD)	情報不足 (DD)

注) 環境省 RL 及び静岡県 RDB の重要度カテゴリー区分は、次のとおりである。

絶滅 (EX) : 静岡県では既に絶滅したと考えられる種

野生絶滅 (EW) : 飼育、栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧 I 類 (CR+EN) : 絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧 IA 類 (CR) : ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

絶滅危惧 IB 類 (EN) : IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

絶滅危惧 II 類 (VU) : 絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧 (NT) : 存続基盤が脆弱な種

情報不足 (DD) : 評価するだけの情報が不足している種

絶滅のおそれのある地域個体群 (LP) : 地域的に孤立している地域個体群で、絶滅のおそれが高いもの

要注目種 (N) : 静岡県独自のカテゴリー

現状不明 (N-I) : 現状が不明な種

分布上注目種 (N-II) : 絶滅の危険性は小さいが、分布上注目される種

部会注目種 (N-III) : その他各部会で注目すべきと判断した種

資料: 「まもりたい静岡県の野生生物 2019 -静岡県レッドデータブック- (動物編)」  
(平成 31 年 3 月、静岡県くらし・環境部環境局自然保護課)